



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年10月31日

上場会社名 株式会社ホットマン 上場取引所 東
 コード番号 3190 URL <http://www.yg-hotman.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 伊藤 信幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 忠行 TEL 022-243-5091
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	9,221	5.7	△192	—	△162	—	△140	—
2022年3月期第2四半期	8,727	△3.6	△287	—	△236	—	△192	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△19.86	—
2022年3月期第2四半期	△27.35	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	16,383	6,653	40.6	943.07
2022年3月期	15,464	6,917	44.7	980.48

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 6,653百万円 2022年3月期 6,917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,300	2.0	460	7.4	520	1.1	266	0.2	37.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	7,275,500株	2022年3月期	7,275,500株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	220,000株	2022年3月期	220,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	7,055,500株	2022年3月期2Q	7,055,500株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済環境は、政府による段階的な行動制限緩和の効果もあり、景気が緩やかに持ち直していくことが期待される中、急激な円安による金融市場の変動や長期化したウクライナ情勢等に起因した資源・エネルギー価格の高騰による消費への影響が懸念されており、先行きは不透明な状況が続いております。

当社におきましても、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、緩やかながらも回復に向けた兆しが見られたものの、年々上昇する最低賃金による人件費の増加、水道光熱費及び備品価格等の上昇により費用は増加傾向にあり、依然として厳しい状況が続いております。

そのような環境の中、会社方針に『熱意は力なり（熱意は人を動かす！自分が真剣に取組む事が大切）』を掲げ、自ら熱意を持って接客や行動する事により、「売上総利益額の確保」と「節電を中心とした費用削減」を全社一丸となって取り組んで参りました。

2022年4月に宮城県仙台市太白区にシャトレゼ南仙台店、同年8月に福島県南相馬市にイエローハット原町店を道路の向かい側へ新築移転し、同建物2階に「ダイソー」の新規出店を行い、当第2四半期会計期間末の店舗数は、イエローハットが90店舗、TSUTAYAが9店舗、アップガレージが8店舗、カーセブンが3店舗、ダイソーが6店舗（前年同期比1店舗増）、宝くじ売場が5店舗、コメダ珈琲店が1店舗、シャトレゼが1店舗（前年同期比1店舗増）の合計123店舗（前年同期比2店舗増）となっております。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は9,221百万円となり、前年同期比494百万円（前年同期比5.7%増）の増収となりました。経常損失につきましては162百万円（前年同期間は経常損失236百万円）となり増益となりました。四半期純損失は140百万円（前年同期間は四半期純損失192百万円）となりました。増収の要因は主として、イエローハット事業における度重なる値上げとそれに伴う駆け込み需要によりタイヤの販売が好調に推移したこと及び新規事業であるシャトレゼの出店により売上高が増加したことによるものとなっております。費用面においては、電気代を中心に費用は増加したものの、イエローハット事業において高粗利であるタイヤ及び車検の販売が好調に推移したことにより赤字幅が減少しております。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

[イエローハット]

当社の主たる事業であるイエローハット事業におきましては、度重なる値上げとそれに伴う駆け込み需要によりタイヤの販売が好調に推移したこと及び車検等カーメンテナンスの販売注力により粗利額が向上したこともあり、当第2四半期累計期間は好調に推移致しました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高6,877百万円（前年同期比3.7%増）、セグメント利益（営業利益）は31百万円（前年同期間は81百万円のセグメント損失（営業損失））となっております。

[TSUTAYA]

TSUTAYA事業におきましては、7月以降ゲームを中心に回復基調にはあるものの、レンタル部門は低調に推移致しました。コミックレンタルの顧客リピート率向上で粗利率改善をはかるものの、書籍を中心に核となるタイトルの発売がなかったこともあり、当第2四半期累計期間は低調に推移致しました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,009百万円（前年同期比6.1%減）、セグメント損失（営業損失）は53百万円（前年同期43百万円のセグメント損失（営業損失））となっております。

[アップガレージ]

アップガレージ事業におきましては、イエローハット事業同様の推移となりました。また、カー用品の買取については、月を追うごとに緩やかに件数が増加したことにより、当第2四半期累計期間は好調に推移致しました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高453百万円（前年同期比9.9%増）、セグメント利益（営業利益）は3百万円（前年同期は6百万円のセグメント損失（営業損失））となっております。

[その他]

2022年4月に宮城県仙台市太白区にシャトレゼ南仙台店、同年8月に福島県南相馬市にダイソー原町店を新規出店致しました。シャトレゼの新規出店によりその他事業の全体売上高に貢献致しました。また、中古車市場は、コロナ過による三密回避の移動手段及び新車の納期遅延により活性化していることもあり、カーセブン事業は好調に推移致しました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高881百万円（前年同期比44.8%増）、セグメント利益（営業利益）は50百万円（前年同期比1.6%増）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は691百万円増加し、8,675百万円（前事業年度末7,984百万円）となっております。これは主に、現金及び預金が65百万円、売掛金が152百万円及び未収入金（その他の流動資産）が193百万円減少したものの、商品が1,043百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産の残高は227百万円増加し、7,707百万円（前事業年度末7,479百万円）となっております。これは主に、建物が301百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計残高は16,383百万円（前事業年度末15,464百万円）となっております。

② 負債

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は1,282百万円増加し、7,069百万円（前事業年度末5,787百万円）となっております。これは主に、短期借入金が1,200百万円及び買掛金が134百万円増加したことによるものであります。

また、当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は99百万円減少し、2,659百万円（前事業年度末2,758百万円）となっております。これは主に、退職給付引当金が51百万円増加したものの、長期借入金が149百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計残高は9,729百万円（前事業年度末8,546百万円）となっております。

③ 純資産

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は263百万円減少し、6,653百万円（前事業年度末6,917百万円）となっております。これは主に、四半期純損失を140百万円計上及び剰余金の配当を70百万円支払ったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月10日の「2022年3月期 決算短信」で公表致しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,354,317	1,289,295
売掛金	707,068	554,795
商品	5,394,179	6,437,437
貯蔵品	1,346	2,051
その他	527,481	392,366
流動資産合計	7,984,394	8,675,946
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,125,299	2,426,486
土地	2,117,777	2,199,704
その他（純額）	630,801	608,641
有形固定資産合計	4,873,878	5,234,832
無形固定資産	11,441	10,934
投資その他の資産	2,594,486	2,461,575
固定資産合計	7,479,806	7,707,342
資産合計	15,464,200	16,383,289
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,142,755	1,277,627
短期借入金	3,050,000	4,250,000
1年内返済予定の長期借入金	344,992	319,993
未払法人税等	147,656	49,922
賞与引当金	88,666	116,666
契約負債	414,751	428,774
その他	598,722	626,636
流動負債合計	5,787,543	7,069,620
固定負債		
長期借入金	826,676	676,679
退職給付引当金	1,496,356	1,548,343
役員退職慰労引当金	157,335	159,530
資産除去債務	172,566	174,260
その他	105,961	101,030
固定負債合計	2,758,894	2,659,842
負債合計	8,546,438	9,729,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,645	1,910,645
資本剰余金	500,645	500,645
利益剰余金	4,474,448	4,263,744
自己株式	△108,380	△108,380
株主資本合計	6,777,358	6,566,655
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	140,403	87,170
評価・換算差額等合計	140,403	87,170
純資産合計	6,917,762	6,653,826
負債純資産合計	15,464,200	16,383,289

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	8,727,293	9,221,355
売上原価	4,659,361	4,890,704
売上総利益	4,067,931	4,330,650
販売費及び一般管理費	4,354,985	4,523,385
営業損失(△)	△287,053	△192,734
営業外収益		
受取配当金	10,313	7,420
受取手数料	12,191	9,636
産業廃棄物収入	6,487	7,349
その他	36,674	21,733
営業外収益合計	65,666	46,139
営業外費用		
支払利息	11,591	11,229
その他	3,782	4,351
営業外費用合計	15,373	15,581
経常損失(△)	△236,760	△162,175
特別利益		
関係会社株式売却益	—	105,101
特別利益合計	—	105,101
特別損失		
固定資産除却損	21	3,169
関係会社株式評価損	—	59,160
貸倒引当金繰入額	—	48,192
災害による損失	3,334	—
解体撤去費用	4,352	1,200
特別損失合計	7,708	111,722
税引前四半期純損失(△)	△244,469	△168,796
法人税、住民税及び事業税	19,621	19,632
法人税等調整額	△71,152	△48,280
法人税等合計	△51,531	△28,648
四半期純損失(△)	△192,938	△140,148

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	6,630,827	1,075,146	412,693	8,118,667	608,626	8,727,293	—	8,727,293
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,068	868	520	9,456	9,763	19,219	△19,219	—
計	6,638,895	1,076,014	413,214	8,128,124	618,389	8,746,513	△19,219	8,727,293
セグメント利益 又は損失(△)	△81,763	△43,739	△6,897	△132,399	50,038	△82,361	△204,692	△287,053

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、コマダ事業及び保険収入等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△204,692千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	6,877,146	1,009,268	453,718	8,340,134	881,221	9,221,355	—	9,221,355
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,840	1,060	25	6,926	10,528	17,454	△17,454	—
計	6,882,987	1,010,329	453,744	8,347,060	891,749	9,238,810	△17,454	9,221,355
セグメント利益 又は損失(△)	31,629	△53,196	3,052	△18,514	50,858	32,344	△225,078	△192,734

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、コマダ事業、シャトレーゼ事業及び保険収入等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△225,078千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。